

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	広告物等推進事業			会計	款	項目	大専	小事	
				01	08	04	01	02	78
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	都市計画課				
施策	1-3	個性ある公共空間・歴史環境の形成と保全		主管課長	長橋 祐之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内全域	意図	広告物等に対し規制をかけることで、良好な景観を形成する。
事業内容	平成31年4月から流山市広告物条例を施行し、広告物に対し条例に基づく許可等に対する事前協議等を通じ、良好な景観の形成を目指す。			
事業開始から現在までの状況変化	平成31年4月1日に流山市広告物条例が施行されるため、屋外広告物等に関する事項は景観維持と関連性が強いことから、土木部道路管理課から所管を移管した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	流山市広告物条例第11条の許可申請					↑↑↑
②	流山市景観条例に基づく事前協議数					↑↑↑	新規事業により記載なし
③	流山市広告物条例に基づく違反広告物の撤去					↑↑↑	新規事業により記載なし
④	流山市は住み心地が良い街であると思う市民の割合					↑↑↑	新規事業により記載なし
⑤	住宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合					↑↑↑	新規事業により記載なし
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				17,126,699			
事業費(b)(円)				3,942,699			
うち一般財源				3,942,699			
職員給与費(c)(円)				13,184,000			
人役・職員(人)				2.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	新規事業により記載なし	③取組における課題(Check)	条例に基づく許可申請の受付前に、事前相談を行い、事務手続きを円滑に行うため、1件に対する事務処理時間も景観協議と同様の時間を要する。
②H30に実施した取組(Do)	新規事業により記載なし	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	景観計画及び広告物条例ルールブックを活用し、広告主及び事業者等に対し、良好な景観形成の誘導と啓発を推進する。